

学校だより

かぎやま

発行
久米島小学校
平成27年
4月21日
第2号

「よりよい学習習慣の形成を」

進級の喜びと新たな希望に満ちた四月。新しい学習環境の中子ども達一人一人が年間の目標や今学期の目標を掲げ日々の学習活動に意欲的に取り組んでいます。

本校では、子ども達が変化の激しい社会に対応し、自らの将来を逞しく切り拓く力をはぐくめるよう学校教育目標を知り、徳・体の点から柱を掲げ、具体的な取り組みを進めています。取り組みの一つに、あいさつなどの基本的な生活習慣や家庭学習、読書活動などの学習習慣の形成を図るために全校体制による共通実践に取り組んでいます。望ましい学習習慣を図るために学習や学校生活の約束として、次の事項を全児童で確認しました。

- 学習用具の準備(必要なものだけ)
- ベル席(チャイムとともに授業開始)
- 姿勢(学習時の座り方・話の聞き方)
- 挙手(発表時)
- 整理整頓

(机・ロッカー・スリッパ・清掃用具)

○あいさつ(あいさつの仕方)

等々、地域で掲げている嘉儀山教育村づくりの取り組み内容と重なる事項もありますが昨年引き続き全校体制を整え習慣化を図って参ります。引き続き学校、家庭、地域の連携による取り組みを推進して参りますのでご理解とご協力をお願いいたします。各家庭におかれましても、取り組み内容について御確認くださいませようお願いします。

入学式

入学式が、四月八日に行われました。今年度は、八名(男子五名、女子三名)の新生一年生が入学しました。ドキドキワクワクしながら六年生のお兄さんやお姉さんに優しく手をひかれて舞台より入場。六年生も緊張の面持ちながら、上級生としての役割をしっかりと果たしてくれました。一年生が安心して身を任せている様子に保護者の皆様も安心したのではないのでしょうか。

歓迎のあいさつでは、六年の島袋さんは、「皆さんが入学してくるのを楽しみに待っていました。小学校の生活は幼稚園とちがう楽しさがいっぱいあります。」と一日でも早く学校生活に慣れるようはなしてくれました。また、給食や教科等の学習などについて小学校の活動を紹介してくれました。さらに、「困ったことは私たちが教えてあげるので心配はいりません。」と頼もしく話してくれました。来賓の皆様からも多くの祝福をいただきました。本町教

育委員会の吉野教育長からは、「お友達と仲良くし、勉強や運動に一生懸命取り組んでください。給食も好き嫌いせずに食べるようにしましょう。」と子ども達へ励ましのメッセージをいただきました。また「子ども達一人一人が島の宝、この島に誇りをもち心も夢をもつことができるよう、みんなで見守りながら応援していきましょう。」と

本町の示す教育の方向性についても触れられていました。PTA会長の宇久里様からは、「学校・家庭・地域が連携し教育環境の充実を図っていきましょう。」と力強いご挨拶をいただきました。ありがとうございます。

職員一同子ども達の夢実現の基盤づくりとなるよう多くの方々のご協力を賜りつつ取り組みの充実を図って参ります。

入学式から二週間。真新しいランドセルも似合うようになりました。子ども達は、学習の約束やすすめ方、遊具での遊び方等、何に対しても興味深く聞いて進んで取り組んでいます。何事にも意欲的でいつも笑顔が溢れ、目はキラキラと輝き、学ぶことの楽しさ、知ることの楽しさを全身で表現してくれています。各家庭、地域においては、子ども達の日々の学校生活の

様子については是非ともお子様から聞いてください。子ども達のエネルギーと日々の成長を感じる事ができると思っています。

子ども達一人一人の可能性を大事にしながらしつかりと寄り添いたいと考えています。

今後、子ども達が学校生活になれ、活動範囲がさらに広がります。保護者、地域の皆様におかれましては、「安心・安全」の点から、登下校時の声かけ等をよろしくお願ひします。



ワクワク ドキドキ
入学の喜びでいっぱいの
新入生



入園式

久米島幼稚園平成二十七年度の入園式が十日に行われました。今年度は、一二名の園児



「子ども達は地域の宝」うちの子もよその子も地域の子として温かく見守り、園児一人一人が健やかに成長できますようご協力のほどよろしくお願ひします。

が入園しました。入園式では緊張の面持ちでしたが、担任の宇江城先生から名前を呼ばれると元気よく返事することができました。園庭や遊具など、目に映る物一つ一つに興味を示している様子がこれから始まる園生活への期待を感じさせてくれました。

幼児教育は、人格の形成する上で重要な役割を担い、幼児期の発達の特性に応じ、環境、人間関係、言葉、表現等の内容を通して行うことを基本としています。本校職員は、入園した一二名の園児一人一人をかけたがない存在として真剣に向き合い、幼児教育の充実につとめて参ります。そのためには、家庭、地域、学校の連携が大切になります。

